



開館カレンダーはこちら

こころは今日も旅をする

著：五木 寛之

90歳を越えた著者が時代や加齢に微笑で応じる、一読痛快、五木流抱腹人生論！



問 簡野道明記念吉田町図書館

☎52 - 3169

出てこい、写楽！

作：楠木 誠一郎



日本橋にある版元「耕書堂」では東洲斎写楽の絵が飛ぶように売れていた。しかし写楽が突然、部屋に引きこもってしまい…。

問 中央図書館

☎22 - 1065

やきいもどーん

作・絵：杉原 やす



飾らない無骨な見た目、どっしり構えた安心感。どれだけ時代が変わっても、やきいもは変わらない。やきいもへ愛をこめて。

問 中央図書館 津島分館

☎32 - 2725

Bearの会

牛鬼句会

文芸のひろば

- | | |
|-----------------|-------|
| 山里に鐘の音響く雪虫 | 井上 園子 |
| 冬うらら文士の家の子供部屋 | 大村 たか |
| 点滴に生かさるる母初時雨 | 坂本扶美子 |
| 鶏小屋の朽ちて傾く枇杷の花 | 中浦ミエ子 |
| 蒸籠の湯気立ちのぼる外厨 | 藤原佳代子 |
| つややかや夕陽を返す木守柿 | 水野 幸子 |
| 讃岐うどん食べて戻りぬ初参り | 宮下 京子 |
| 囲炉裏端植物図鑑広げあり | 毛利 晴美 |
| 寒に入る寺の後ろに砂防ダム | 山能 秀子 |
| 食積にビザ買ひ足して子らを待つ | 渡辺 正子 |
| 匍匐前進してみたき落葉かな | 平岡千代子 |
| 飴炊きの鯨のあめ色寒北斗 | 熊本 良悟 |
| 歳旦の飛躍を願う朝日かな | 赤松 千明 |
| 寒茜岬の影を黒く切る | 赤松いづみ |
| 樹木名立てて春待つ木でありぬ | 岡野未由子 |
| 初晴や確たる位置に鬼瓦 | 川上 博子 |
| 初競りや三本締めで活気づく | 下田美穂子 |
| 初景色光の帯となりし河 | 永井ひで代 |
| 鳶の声空に鋭く年新た | 中島 純子 |
| 集落に残りし七草粥行事 | 青井規久子 |
| 神木の枝透き初空晴れ渡る | 熊本 妙子 |

